	PDCAチェックシート(平成	26 年	度ま	(綾評価)				当局	上下水道局 下水道計画課		
	事業概要	_		V 10-01				: コ 吥 関長名	友久		
事	于 不 M 又										
業名	浸水対策事業						п	- 1	- (4) - (4)		
-								□ 直営	□ 補助金		
事							事		□ 補助並		
業 概	近年、集中的な豪雨や都市化の進展に起因する浸水被害が増加しています 浸水被害を抑制するため、公共下水道の整備を進めると共に流域全体の浸	す。 浸水に対する	安全度	の向上を図りま	す。		業		委礼 □ 貝担並 委託 □ 指定管理		
要							手法	口その			
			.	目安の金額	==	長 0.80 人			TE!		
コス	事 20 千尺 3 1/3 1		^노		俘	長 2.70 人	(人件	+費備考)			
1	費 3,000,000 円 円 む		費	165,200 千	円	員 17.20 人					
	I A a t	ion】改氰	É								
	LACT		Ť								
課	H24年度の 評価結果 平成24年度の雨水整備率は目標値を達成することができまし	見 直									
題	を受けて に。平成20年度においても、当該年度の日標値に向けて、事業を受けて を進めていきます	し 平成: 内	26年度	においても、引き	き続き事	業を計画的に	進め	ていきま	きす 。		
	の課題	容									
	Zer Nel z					1-5-4-5			. 15th		
	(Plan)計画	`n	8 + 中1	31 + 1 > + > >		o】実施	\rightarrow	[Ch	eck】評価		
	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態にしたいか、ど	のような成績	ドを美り	見したいか)	成果	 代表的な成果	製指				
目的	浸水被害の抑制 公共下水道の整備(雨水整備)を進めるとま	共に流域全体	▶の貯旨	習・浸透・保水能	の	標の実績など参考に、成果	き				
Ho	力の向上など総合的な治水対策を行います	t.			状況	状況をチェック					
	七種 (*** ** ** ** ** ** ** **			_		│ 年度実績	成果の状況				
	措標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	漬 2	26年度目標		^{牛及天} 頓 達成率)			M理由 ・		
	浸水被害の抑制										
代	 過去に大規模な浸水被害が発生した箇所において、10年確率降雨										
表	(53.1mm/h)に対応する整備を行うことにより、浸水被害が発生しない状態を目指します。										
的な											
成	(最終目標と目標年度) 平成26年度					%					
果指											
標											
	(最終目標と目標年度)					%					
						70					
活					活						
動	どうやって 過去に浸水した地区や未整備地区などの浸水の危険性の高い 目的を達 に、地形的に浸水を起こしやすいと想定される、山手の急勾配が				動 の	活動指標の乳 を参考に、活					
計画	成するか 面が10年確率の計画断面よりも不足している区域などの整備	を計画的に進	進めます	-	状況	の状況をチェ	ック				
	措標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)	05左连中4	± /	06年中日福		上 年度実績		活動	かの状況		
	(上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	項	26年度目標		達成率)			価理由		
	雨水整備率										
活	 雨水管布設工事等を行うことにより、市内の浸水対策が進められているか			71.0 %							
動指	表すものです。					%					
標											
							-				
						%					
	[Check	<】評価(:	分析)								
,.	【成果の状況】										
分 析	【活動の状況】 を踏まえた分析										
及び	※事業手法の有効性、 外部要因などの視点										
課	A HE WEST OF AN INDIN										
題の	「経済性」(同成果を低コストで)										
整理	「 効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※足間活力道入の組占										

	PDCAチェックシート(平成	26 年度	実績評価))		担当局担当課	上下水道局計画課	
	事業概要					課長名	谷	
事						Ŕ	拖策番号	
業名	地震対策事業(水道施設)					II - 1	- (4) - ⑤	
						□ 直営	□ 補助金	
事業						担課 計画	3委託 □ 負担金	
概	大規模な地震が発生した場合においても、安全で安定的な給水を確保する	ため水道施設の	の耐震化を実施する	ものです	す。	業口一部	3委託 □ 指定管理	
要						2-4-		
-	事 26年度当初予算額 26年度執行額 (事業費備考)	人	目安の金額	課	長 0.04 人	(
ス	all	件	4.010 T	係	長 0.10 人	(人件費備考)		
1	著	費	4,610 千	職	員 0.42 人			
	[Act	ion】改善						
	(Acc	見						
課	H24年度の 評価結果	直						
	を受けて 順調に事業は進捗してあり、予復も向様に進めていきより。	し 今後も言 内	十画通りに耐震化を近	進めて、	安定給水の向	り上を図ります	す。	
	の課題	容						
	Zer Neles				V obs.deb	Zo.	. 15th	
	【Plan】計画	`a `	DT 1. (.)	L	o】実施	→ [Cr	neck』評価	
	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態にしたいか、と	のような成果を	実現したいか)	成	 代表的な成果	!指		
目的		全で安定的な	給水を確保するため	果の	標の実績など 参考に、成果	`を		
נים	水道施設 「に水道施設の耐震化を図ります。			状況	状況をチェック	7		
			Г		左曲体	は田の代泊		
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標		年度実績 達成率)			
	耐震補強対象施設整備率			.,				
/5								
代表	平成27年度までに耐震化を行う13施設について、耐震補強が進められているか表すものです。		92.3 %					
的な	0 · 00 · 00 · 00 · 00 · 00 · 00 · 00 ·							
成	(最終目標と目標年度) 平成27年度				%			
果指								
標		-						
	(最終目標と目標年度)				%			
				活				
活動	どうやって				 活動指標の実			
計	目的を達	•		が状	を参考に、活動の状況をチェ	動し		
画	12.7 67			況				
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標		年度実績 達成率)	活!	動の状況	
	耐震補強工事数			(,	生以平/	ET.	一個生田	
	101 M 110 M - 7 M		. 笛					
活動	 耐震補強工事を行う箇所数を表すものです。		4 筋					
指					%			
標								
					%			
					70			
	Check	〈】評価(分	折)					
分	【成果の状況】							
析	【 活動の状況 】 を踏まえた分析							
及び	※事業手法の有効性、 外部要因などの視点							
課								
題の	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)							
整理	「 刈一年」」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間任力道入の祖占							

	PDCAチュ		担当局 上下水道局 担当課 施設課									
		事業概要				課長名中村						
事		于大师文				施策番号						
業	地震対策事業(下水道施調	殳)				II - 1 - (4) - (5)						
名						,, ,						
事						□□直営□□補助金□□						
業	大規模な地震が発生した場合において	*、下水道の機能を最低限確保する	ために下水道	布設の耐震化を実施	するものです。	事 ■ 全部委託 □ 負担金 ■						
概要)		72071-177122		,, 50,, 6,,	業 手 □ 一部委託 □ 指定管理						
						法 □ その他						
⊐	事 26年度当初予算額 26年度	執行額 (事業費備考)	人	目安の金額	課長 0.06 人	()						
スト	業 費 662,000 千 円	千 円	件	10,676 千	円 係長 0.25 人	(人件費備考) -						
•		1 1			1,00 人							
		Act	ion】改善									
	H24年度の		見									
課		· 続けていきつつ、計画的に着実な	直 し 平成26	ケー・ナンフォン 1 は	*** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
題	■ を受けて 収組みを進めていく必要がめります。 の理題											
	の											
	【Plan】計画 【Do】実施 → 【Check】評価											
	対象(誰を、何を) 目指す	伏態 (どのような状態にしたいか、ど	のような成果を	実現したいか)		/ [CHeck]atim						
	PIRO (III C) HIRT	大阪 (このなりなが返にこうにいったくこ	<i>~~~~~~~~</i> ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	×310120137	成 代表的な成果	 指						
目的	大規模	な地震が発生した場合においても、』	景低限有すべき	・下水道施設の機	🔭 標の実績など	<u>:</u> を						
l III)		をするために下水道施設の耐震化を			状 参考に、成果 状況をチェック							
					近							
	指標(数値化できない場合は、目		25年度実績	26年度目標	26年度実績	成果の状況						
	(上段:指標名 下段:指標の記	兄明と日標設定の考え方)			(達成率)	評価理由						
	耐震補強対象施設整備率											
代	5浄化センターの管理棟、汚泥処理棟、	自家発電棟の耐震補強が進められ		100 0/								
表的	ているか表すものです。			100 %								
な					%							
成果	(最終日標と目標年度) 平成26年度				/0							
指標												
138												
	(最終目標と目標年度)				%							
	TAKE INCOME TO				/5							
活	102.11				活							
動		管理棟・汚泥処理棟) や緊急用の非常	常用発電設備の	ある自家発電棟の	動 活動指標の写 の を参考に、活							
計画	成するかが震補強を計画どおり進め	₹9 。			状 の状況をチェ 況							
		告 ている状能を文音で記載)			26年度実績	活動の状況						
	(上段:指標名 下戶		25年度実績	26年度目標	(達成率)	評価理由						
	耐震補強工事数											
活				5 箇								
動	耐震補強工事を行う箇所数を表すもの	です。		РЛ	%							
指標					70							
					%							
			. 1 表现 / 工 / 小	r.								
- /\	【成果の状況】	Check	(分)	T)								
分析	【活動の状況】											
及び	を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、											
課	外部要因などの視点											
題の	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)											
整	の分析											
理	※民間活力導入の視点											

	PDCAチェックシー		担当局担当課	上下水道局 海外事業課							
		纟概要					課長名	中嶋			
事		·					於				
業名	上下水道技術の国際協力						п – з	- (4) - ②			
事	ᄀᅁᄀᅔᇚᄼᄓᅔᄝᄡᆄᄰᄼᆉᅩᅷᅁᄀᅟᄼᅩᅩᆛᄝᆢᄼᄀ		本士 ひぶっ	· シ.マ サムジマニば	マナンば)。	の聯号に	■ 直営	□補助金			
業	アジアを中心とした国や地域(カンボジア、ベトナム国ハイフ 遺や海外からの研修員受入れにより、本市の浄水技術や漏7	k削減などの技	術の移転、下				事 □ 全部	委託 🗌 負担金			
概 要	指導を行うことで、海外の技術者の育成を進め、世界の水環! 併せて、国際技術協力を通じ、技術の継承や実務能力の向			寄与します。			手 □ 一部	委託 🛚 指定管理			
			.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				法 □ その	他			
7	事 26年度当初予算額 26年度執行額 (事業費備	考)	人	目安の金額	課長		(((((((((((((((((((()			
スト	業 費 80,259 円 円		件 費	58,900 千	·円 係長 冊 職員	1.00	(人件費備考)				
		[Actio	on】改善								
	H24年度の本前の提案により採択を受けたJICA草の根技術			コの制度を送出する	+> 13 7	1.经过去回口	ナンがこ 羊中ナ	- 声楽中佐に奴			
課	評価結果 日治体国際化協会(CLAIR)の受人研修に加え、	JICAやKITA	め、開発	国の制度を活用する &途上国の技術向上	を図ります	す。なお、平月	成26年度予算	草が増額している			
題	を受けて とにより、更なる現地の技術力向上への寄与が必		内事業内容	ICA草の根技術協力 容を変更するものでし	⋾事業の∄ はありませ	采択を受け、 せん。	関連経費が均	増えたためです。			
	ます。		容								
【Plan】計画 【Do】実施 → 【Check】評価											
	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態		りような成果を	実現したいか)	成。						
l	アジアを中心とする水環境の 改善が必要な国や地域(カン 本市が長年の事業運営の過	果 1	代表的な成果 票の実績など	指を							
	ボジアや友好都市であるベトい、海外の技術者を育成しま	分 参	参考に、成果	の							
	ナム国ハイフォン市、中国大連 市職員の育成にも寄与します 市、インドネシアなど)	•			況 7	犬況をチェック	,				
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考えて	で記載)	25年度実績	26年度目標		度実績 成率)	成果の状況 評価理由				
	国際技術協力でアジアの発展に貢献	37			\Æ	:/ /// /	ЯІ	岡 在田			
125				 開発途上国の							
代 表	国際技術協力を通じ、本市が有する技術やノウハウを輸出す て、海外技術者の育成を図ります。	ることによっ		技術向上を							
的な				目指します。							
成果	(最終目標と目標年度)					%					
指											
標											
	(最終目標と目標年度)					%					
活動	どうやって 上下水道技術を海外の研修員に効率的・効果的	に伝えるため、ス	毎外の上下水	道事情や国際技術	活 動 汗	5動指標の実	淫績				
計	目的を達 協力に精通した機関である(独)国際協力機構(J 成するか どと連携して取り組みます。	ICA)、(財)北ナ	1州国際技術	協力協会(KITA)な		を考に、活動 の状況をチェッ					
画					況						
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で (上段:指標名 下段:指標の説明)	『記載)	25年度実績	26年度目標		度実績 成率)		動の状況 価理由			
	海外からの研修員受入人数(上水)										
活	本市の提案により採択を受けたJICA草の根技術協力事業及際化協会(CLAIR)事業を活用した受入研修に加え、国際協力		人	80 人							
動指	や北九州国際技術協力協会(KITA)などの依頼により受け入 の人数です。					%					
標	海外からの研修員受入人数(下水)										
	本市の提案により採択を受けたJICA草の根技術協力事業及	び自治体国	ı	200 人							
	際化協会(CLAIR)事業を活用した受入研修に加え、国際協力や北九州国際技術協力協会(KITA)などの依頼により受け入		人	200 人		0/					
	の人数です。	_				%					
		(Check	】評価(分	析)							
分	【成果の状況】 【活動の状況】										
析及	を踏まえた分析										
び	※事業手法の有効性、 外部要因などの視点										
課題	「経済性」(同成果を低コストで)										
の整	「効率性」(同コストで高成果を)										
理	の分析 ※民間活力導入の視点										

	PDCAチェックシート(平成		担当局担当課	上下水道局計画課			
	事業概要					課長名	谷
事						Į.	 施策番号
業名	配水管更新事業					Ⅲ — 1	- (3) - ①
事業概要	老朽化した配水管を計画的に更新することにより、漏水、赤水、不出水の解します。	7消や管破損事	故を防止し、安全で₹	安定的	な給水を確保	-	『香託 □ 負担金 『香託 □ 指定管理
コスト	事 26年度当初予算額 26年度執行額 業費 4,183,520 千円 千円	人件費	目安の金額 296,125 千	田保	長 1.00 人 長 5.10 人 員 31.15 人	(人件費備考))
	[Act	tion】改善					
課題	H24年度の 評価結果 を受けて の課題		∓度は、老朽化した配 62kmの配水管更新			を進めるため)、昨年度に引き続
	【Plan】計画			l 7 r	o】実施	→ [Cl	neck】評価
	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態にしたいか、ど	のような成果を	実現したいか)			. [0]	
目的	老朽化した配水管 計画的に更新することにより、漏水、赤水、 止し、安全で安定的な給水を確保します。	成果の状況	代表的な成果標の実績など参考に、成果 状況をチェック	業 (人件費備考) (人件費備考) (人件費備考) (人件費の他 (
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標		年度実績 達成率)		
代表的	安全で安定的な給水の確保						
	40年以上経過した普通・高級鋳鉄製の配水管がない状態を目指します。						
な成	(最終目標と目標年度) 平成32年度				%		
果 指 標	(最終目標と目標年度)				%		
		'					
活動計画	どうやって 目的を達 成するか			活動の状況	活動指標の実を参考に、活動の状況をチェ	動ック	
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標		年度実績 達成率)		
	配水管更新延長						
活動指	計画とおりに配水管更新事業が進められているか表すものです。		62 km		%		
標							
					%		
	I Class I	-1部(年/八	I-1		, -		
		k】評価(分	(II)				
分析及び舞	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点						
課題の整理	「 経済性」 (同成果を低コストで) 「 効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点						

	PDCAチェックシート(平成		担当局	上下水道局					
	事業概要					課長名	当課 配水管理課 長名 津田 施策番号 - 1 - (3) - ① ① 直営 □ 補助金 □ 全部委託 □ 負担金 □ 一部委託 □ 指定管理 ■ その他 (工事費助成) 費備考)		
事						ħ	上 拖策番号		
業 名	アクアフレッシュ事業(学校の直結式給水の推進) 					Ⅲ — 1	- (3) - ①		
事業概要	水槽式給水の小中学校等では、近年の児童、生徒数減による などにより、貯水槽内に水が滞留し、水のおいしさが軽減する 中学校等の直結式給水への切替えを推進するため、既存の給 な学校を対象に直結化の支援をしています。	犬況にあります	⁻ 。そこで、上下水	道局	では市立小	事 □ 全部 業 □ 一部	委託 □ 負担金 委託 □ 指定管理		
コスト	事 26年度当初予算額 26年度執行額 (事業費備考) 業 35,000 千	人件費	目安の金額 2,950 千	円	長 0.05 人 長 0.05 人 战員 0.25 人	(工事習(人件費備考)	麦助成)		
	[Ac	tion】改善							
	H24年度の 本事業は、教育委員会に対して技術的支援や助成金等の支援 を行うものですが、震災発生後、学校の耐震化の優先度が高まったため、本事業の対象となる工事の予定が修正されること となりました。	見 直 数育委員	員会において学校の 冬目標を平成27年度				画に合わせ、本事		
	【Plan】計画				o】実施	→ [Ch	neck】評価		
	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態にしたいか、と	このような成果を	実現したいか)	成					
目的	市立小中学校等の生徒 よりおいしい水道水を飲むことができるよう		果の状況	代表的な成界標の実績など 参考に、成果 状況をチェック	き の				
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標		年度実績 達成率)				
	学校直結率								
代表的な成	市立小中学校の内、直結式給水を採用している学校の割合です。 (直結式給水の学校数/全学校数) (最終目標と目標年度) 81%(平成27年度)		76 %	%					
果指標	(最終目標と目標年度)	_			%				
活動計画	どうやって 目的を達 成するか			活動の状況	活動指標の領を参考に、活の状況をチェ	動			
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標		年度実績 達成率)		動の状況 価理由		
活動指標	学校直結化数 学校の直結化に要する工事費を助成した件数です。		11 校		%				
		_			%				
		k】評価(分	折)						
分析及び	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	NATAL INVENT							
課題の整理	「 経済性」 (同成果を低コストで) 「 効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点								

	PDCAチェックシート(平成		担当局 上下水道局						
	事業概要					担当課課長名	下水道計画課 友久		
事	于 不 例 文								
業名	合流式下水道改善事業					Ⅲ — 1	- (3) - ③		
事業概要	合流式下水道で整備された地区は、大雨時に雨水で希釈された未処理下が 放流先の汚濁負荷を分流式下水道並みに軽減するため、合流式下水道ので				† .	掌	委託 □ 負担金 委託 □ 指定管理		
コスト	事 26年度当初予算額 26年度執行額 (事業費備考) 業 2,800,000 千 円	人件費	目安の金額 121,150 千	.円 係	長 0.60 人 長 1.75 人 員 12.90 人	(人件費備考))		
	[Act	tion】改善							
課題	H24年度の 評価結果 を受けて の課題 ・平成24年度の合流改善率は目標値を達成することができました。平成26年度においても、当該年度の目標値に向けて、事業		法施行令で定められ き続き事業を計画的			を見据えて、	平成26年度におい		
	【Plan】計画				o】実施	→ [Ch	neck】評価		
	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態にしたいか、ど	のような成果を	ま現したいか)	成					
目的	スポート では、								
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標		年度実績 達成率)	成果の状況 評価理由			
	良好な水環境の実現								
代表的な	公衆衛生上の安全確保のため合流区域において、未処理の生活排水が河 川等に流入しない状態を目指します。			0/					
な成果	(最終目標と目標年度) 平成35年度				%				
指標	(最終目標と目標年度)	-			%				
				活					
活動計画	どうやって 目的を達成するか 浸水対策や改築更新に併せ一体的に取組むことはもとより、河を図りながら、合流式下水道の改善を進めます。	川整備等の他輩	事業とも緊密な連携	動の状況	活動指標の多を参考に、活の状況をチェ	動ック			
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標		年度実績 達成率)	活	動の状況 ^፲ 価理由		
活動指	合流改善率 雨水整備による分流化及び雨水滞水池の設置を行っていくことで、合流式 下水道の改善が進められているか表すものです。		34.6 %		%				
標		_			%				
			+c\						
		<】評価(分	कार						
分析及び課	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点								
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点								

	PDC#	、チェックシート(平成	26 年度	[実績評価])		担当局担当課	上下水道局
		事業概要					課長名	有田
事								施策番号
業名	小水力発電設備設置						V - 1	- (4) - (2)
								二 □ 補助金
事							事 ■ 全部	
業概	水道施設における再生可能工	ネルギーを有効に利用するため、小水力発電	電の整備推進を	図るものです。			業	
要							[표]	
	 _車 26年度当初予算額	26年度執行額 (事業費備考)		目安の金額	==	長 0.01 人	本 □ その	の他
コス	7	千	人		43	長 0.01 人	(人件費備考)
۱,	費 198,720 円		費	1,340 千	·# }	t員 0.15 人		
		ΙΔ	tion】改善					
		[AC	UON」以 当					
課		する水車が無いなどの技術的理由や、発電	直					
題	を受けて 国に人では影響を の道え可能な場所	及ぼす水運用形態の変化など、小水力発電 「は非常に限られてきます。	し 導入の	可能性がある場所に	ついて	、導入に向けた	た詳細検討る	を行います。
	の課題の課題の等人可能な場所		容					
		【Plan】計画			ľ	Do】実施	→ [C	heck】評価
	対象(誰を、何を)		うのような成里を	を実現したいか)		701天心		Neck 1 at Im
_	戸 第 (1117 Was (COS) SINGICOICO IS C	- W & J & J & J & A & &	<u> </u>	成果	代表的な成界		
目的	水道施設	 再生可能エネルギーの有効利用を図ります	+		၈	標の実績など参考に、成果	を の	
""	八旦 尼改	行工引能エバルコ の名別利用を図りる。	7 0		状況	状況をチェック	2	
	指煙 (数値化できない場	 合は、目指している状態を文章で記載)			26	<u> </u> 年度実績	Б Т.	果の状況
		:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標		達成率)		平価理由
	再生可能エネルギーの有効利	用						
代				 再生可能エネル				
表	水道施設における再生可能工	ネルギーの有効利用を目指します。		ギー有効利用				
的な				推進				
成	(最終目標と目標年度) 小水:	力発電新設2箇所(平成27年度)			%			
果指								
標								
	(最終目標と目標年度)					%		
=					活			
活動	どうやって 目的を達 平成26年度は新た	な小水力発電の導入に向けた検討を行いま	⊧ /-		動の	活動指標の写		
計画	成するか	な小小刀光电の等人に同じた候前を刊いる	-9 °		状	の状況をチェ		
	46-120-100-100-100-100-100-100-100-100-100			1	況	左连中纬	<u> </u>	動の状況
	治保 (数値化できない場 (上段:指	場合は、目指している状態を文章で記載) 標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標		年度実績 達成率)		平価理由
	小水力発電の導入検討							
活				1 箇				
動	新たな小水力発電の導入に向	けた詳細検討を行います。		ומ		%	-	
指標	小小士の声が						-	
	小水力発電の更新		-	 				
	 老朽化した既設小水力発電の	再新を行います		1 影				
	247100に成成17水刀元电の	文を11v·57。				%		
		Chec	k】評価(分	析)				
	【成果の状況】							
分	【活動の状況】 を踏まえた分析							
及	※事業手法の有効性、							
び課	外部要因などの視点 							
題の	「経済性」(同成果を低コストで)							
整	整 「 幻平性」 (同コストで高成果を)							
理	※民間活力導入の視点							

	PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)									旦当局	上下	水道局
	PDC		担	旦当課	施	設課						
			事業概要						部	果長名	4	 □村
-			1- N 190 X						-	旃	策番号	
事業	下水道資源の有効	利田								ЛE	水田勺	
名	「小坦貝娜以有別	ጥ! /TJ							M	- 3	- (3)	- 4
									⊢			
-										□ 直営		補助金
事業	 下水汚泥のバイオマスエネル	ギーリ ての燃料ルめさま	ざまた咨询し ての	古州和	Im ±4	- 加理水の再利用	ートス犯	5理利田かばた	事	■ 全部	委託 🗆	負担金
概	下小汚泥のハイオマスエイル 行います。	イーとしての燃料化やさま	さまな貝派としての	1月※川小	川、また	処理小の舟利用	- よる1/i	現利用なこと	業			Ale als fee am
要									手	┃□ 一部部	癸託 📙	指定管理
									法	□ その1	也	
	事 26年度当初予算額	26年度執行額 (事)	業費備考)		1	目安の金額		課長 1.00 人	1	()
	事				人件			孫長 2.33 人	(人作	+費備考)		
l î	 	千 円			曹	127,275	千円 ト-	 職員 12.33 人	-			
	17	1.1					·	戦員 IZ.33 ハ				
			T A -4	7	과수							
			[Act	ion	以晋							
		源化については、平成27年		見								
課		動までは、現在の有効活用	方法に変更はあり	直	最終日本	票を達成するため、	汚泥σ)有効活用に努	めると	ナもに、ハ	$_{ m \Pi}$ 理水 σ	五利用
	大平はて ません。	利用については、目標を下	同ってかし 加田少	し		加するよう他の用途						1313713
		利用に ういては、日保を下 加するように努めていきます		内容								
	(7) 13 13 1 7 7 F		- 0	—								
		[DI]=	Lieu					D. 1中板		TO L	1-7	= जः /==
		【Plan】言						Do】実施	ightharpoonup	LCu	eck]	計皿
	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような	状態にしたいか、ど	のようク	な成果を	実現したいか)	_ 成					
							果	代表的な成身				
目的	マコンゲ 次 1年	下水汚泥のバイオマスコ	エネルギーとしての炊	燃料化·	やさまざ	まな資源としてのる	_≒ ∥	標の実績など参考に、成果				
נים	下水道資源	効利用、また処理水の再					│∦状	状況をチェッ				
							況	1,000				
	岩橿 (数値化できない	 場合は、目指している状態を	 文音で記載)				2	6年度実績		成月	の状況	7.
		場よば、日間としている状態を 段∶指標の説明と目標設定の		25年	度実績	│ 26年度目標		(達成率)			価理由	•
	エル汪沢の西洛海ル変											
	下水汚泥の再資源化率 											
代		工 <u>工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工</u>	an = '7. I 주 'B 스 let									
表	浄化センターで発生する下水 却によるごみ発電の燃料とし					95 %						
的	対によるこの元 电の 燃料とし	て丹州用することで丹貝派	してリンに引口。									
な	 (最終目標と目標年度)平成2	0年度に000%						04				
成	(取於日保乙日保干及)干风2	.0午及1~5070					%		_			
果 指	下水処理水有効利用率											
標												
	浄化センターで処理した水を	場内の雑用水や修景用水、	民間工場等の用			7.1 %						
	水として再利用した割合。					/.1 70	' 					
									-			
	(最終目標と目標年度)平成3	2年度に10%						%				
						•						
活	用在の下水汚泥	処理方法以外に、更なる再	咨消ルに向け活況(鉄 半汁 イレ・	体記律部	ひて重え体エカで	活					
動	とうやって	起生力以及力に、文体の行	更//// ICICIPIT/77/IC/	M 44 10		メエザでルエテく	動	1 H - 23 3 H 123 - 1 2				
計		の有効利用は、更なる利用	率の向上のため、現	状以タ	トの利用	方法の検討を行い	、 の状	を参考に、活 の状況をチェ				
画	なりるが、 ます。						況		. , , ,			
-	岩煙 (粉値ルできない	場合は、目指している状態を	立音で記載)			l		6年度実績	1	- 活重	の状況	7
		場合は、日相している状態を f標名 下段:指標の説明)	大草で記載/	25年	度実績	│ 26年度目標		(達成率)			価理由	·
								(12.77				
	更なる再資源化へ向けての核	ุ เล่า 				燃料化施設建						
活	浄化センターで発生する下水	汚泥の更なる再資源化とし	て汚泥燃料化設備			設事業の適切						
動	を平成27年度供用開始に向い					な執行			-			
指	所などの石炭代替燃料となり	CO2排出削減効果がありま	きす。					%				
標	他の用途への有効利用につい	ングの検討							1			
	医07/15年 107年3月17/17/17	, C071XIII				 単年度目標設						
	現状の利用形態だけでは、頭	対ちのためその他での利息	田田冷を給討する			単年及日係設 定なし						
	必要があります。	(11.202/2020,000)	11/11/2012 12(11)			1 A C		0/	-			
								%				
			[Check	1	価(公	析)						
	F-h m - Jr - V			7 111	HER CAN	W 7						
分	【成果の状況】											
析	【活動の状況】 を踏まえた分析											
及	※事業手法の有効性、											
び	外部要因などの視点											
課												
題 の	「経済性」(同成果を低コストで)											
整	▼ 											
理	の方析 ※民間活力導入の視点											

	PDCA		担当局	上下水迫局						
		チェックシート(平成			,		担当課	海外事業課		
		事業概要					課長名	中嶋		
事業	上下水道技術の国際	终t2 十					Jii	拖策番号		
名		示 (別) ノン					VII – 1	- (3) - 2		
							■ 直営			
事		(カンボジア、ベトナム国ハイフォン市、中国大					■ □ 全部	『委託 □ 負担金		
業 概		により、本市の浄水技術や漏水削減などの技 者の育成を進め、世界の水環境改善に貢献し		水迫の計画つくりや剤	推持官均	理等に関する	業			
要		、技術の継承や実務能力の向上など、本市職		寄与します。			 -			
		1/±₩###*					本 □ その			
=	事 26年度当初予算額	26年度執行額 (事業費備考)	人	目安の金額	課		(人件費備考))		
ス	業 費 80,259 千	千 円	件 骨	58,900 T	丹保		(八件資酬号)			
	11	1.1	^~		職	貝 3.00 八				
		[Act	ion】改善							
	大市の坦家に とい	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	В							
課	H24年度の 治体国際化協会(CLAIR)の受入研修に加え、JICAやKITAの	🚠 JICAや	国の制度を活用する 上国の技術向上を図						
題	太平けて 依親による党人研	修などの国際協力を継続的に実施すること 2の技術力向上への寄与が必要と考えていま	JICA草	『の根技術協力事業の	の採択を					
	の課題 す。	の技術が同工への寄子が必要と考えている		更するものではありま	ぜん。					
		【Plan】計画			[D	o】実施	→ [Ch	neck】評価		
	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、ど	のような成果を	を実現したいか)	成	<u>+</u>	7.16			
Ι _Β	アジアを中心とする水環境の 改善が必要な国や地域(カン	 本市が長年の事業運営の過程で培った技術	らわ /古 ハウた	活か! た歩道を行	果	代表的な成果 標の実績など				
的		本川が長年の事業連呂の過程で占った技術 い、海外の技術者を育成します。また、技術			1 dr	参考に、成果	. ග			
	ム国ハイフォン市、中国大連 市、インドネシアなど)	職員の育成にも寄与します。			況	状況をチェック	7			
		 場合は、目指している状態を文章で記載)			264	年度実績	 成果の状況			
		:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標		達成率)		価理由		
	国際技術協力でアジアの発展	に貢献								
/6				 開発途上国の						
代 表	国際技術協力を通じ、本市が存て、海外技術者の育成を図りま	有する技術やノウハウを輸出することによっ -+		技術向上を						
的	(、海外技術名の自成を図りま	59 0		目指します。						
な成	(最終目標と目標年度)					%				
果					,0		1			
指標										
138										
	(最終日標と日標年度)					%	-			
	(以下日本〇日本十度)									
					活					
活動		外の研修員に効率的・効果的に伝えるため、				活動指標の乳				
計	目的を達 協力に精通した機 成するか どと連携して取り組	関である(独)国際協力機構(JICA)、(財)北. 引みます。	九州国際技術	協力協会(KIIA)な		を参考に、活 の状況をチェ				
画					況					
		場合は、目指している状態を文章で記載) 標名、下級・特標の説明)	25年度実績	26年度目標		年度実績 ^{主成率)}		動の状況 ^፻ 価理由		
		標名 下段:指標の説明)			()	主队华)	AT	·加连日		
	海外からの研修員受入人数(」									
活		とJICA草の根技術協力事業及び自治体国際 と受入研修に加え、国際協力機構(JICA)や	人	80 人						
動	北九州国際技術協力協会(KI	TA)などの依頼により受け入れた研修員の				%				
指標	人数です。						1			
	海外からの研修員受入人数(
		とJICA草の根技術協力事業及び自治体国際 と受入研修に加え、国際協力機構(JICA)や	人	200 人						
	北九州国際技術協力協会(KI	TA)などの依頼により受け入れた研修員の				%				
]人数です。		1							
		Check	(分字)	·析)						
	【成果の状況】									
分 析	【活動の状況】 を踏まえた分析									
及	※事業手法の有効性、									
び課	外部要因などの視点 									
題	「経済性」(同成果を低コストで)									
の整	「効率性」(同コストで高成果を)									
運	の分析 ※民間活力導入の視点									

	PDCAチェックシート(平成)	担当局 上下水道局						
	事業概要				担当課 海外事業課 神嶋 神嶋				
事	华未恢 女				施策番号				
業名	海外水ビジネスの推進				VII - 1 - (3) - ②				
事業概要	海外水ビジネスは、2025年には、上下水道分野など合わせて約87兆円規模においても、アジアを中心とした水インフラ分野の海外展開が位置づけられ進協議会」を軸に、官民がそれぞれ有する技術カやノウハウを結集し、計画海外の水ビジネス案件の受注を目指します。併せて、「ウォータープラザ北スを進めます。	ています。この。 iづくりから設計	ような中で、「北九州」、建設、維持管理、事	市海外水ビジネス推 事業運営までを含む	業				
7	事 26年度当初予算額 26年度執行額 (事業費備考) 業 エ	人件	目安の金額	課長 1.40 人					
スト	費 96,094 千 円	費	60,600 T	·円 係長 2.20 人 職員 3.00 人	_				
	[Act	ion】改善							
課題	H24年度の評価結果を受けての課題 ビジネス対象国であるカンボジアやベトナム・ハイフォン市、インドネシアで、案件形成活動を行い、着実に事業展開を行ってきました。その結果、平成24年度は上下水道併せて4件のビジネス案件を受注するなど、徐々に成果が現れていますが、更なる案件獲得に向け、積極的な活動が必要であると考えます。	七日北		進協議会とより一層。	緊密に連携し、案件形成・獲得				
	【Plan】計画			【Do】実施	→ 【Check】評価				
目的	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態にしたいか、ど カンボジア、ベトナム・ハイフォ ン市、中国・大連市、インドネシ アを中心とする対象国 民間企業が有する高い技術力や資金力とE や信用力を結集し、海外の上下水道ビジネ	成 果 の 状況を考に、成男 が状況をチェッ	どを 具の						
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由				
	上水道に関する水ビジネス案件の受注			(12.74 7					
代表的	アジアを中心をした国や地域を対象に、上水道に関するビジネス案件を受注します。	-	単年度目標設定なし						
な成	(最終目標と目標年度)			%					
果 指	下水道に関する水ビジネス案件の受注]				
標	アジアを中心とした国や地域を対象に、国際戦略拠点を活用しながら、下 水道に関するビジネス案件を受注します。		単年度目標設定なし						
	(最終目標と目標年度)			%					
活動計画	どうやって 目的を達 戻いているカンボジア、ベトナム、中国、インドネシアを当面の対す。			活 動 活動指標の の を参考に、活 状 の状況をチュ	動				
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由				
	海外水ビジネスの推進								
活動指	「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、技術・製品の具体的な売り 込みや各種展示会への出展、広報活動など、セールスプロモーション活動 を進めます。		単年度目標設定なし	%	_				
標	国際戦略拠点の効果的な活用に向けた活動				1				
	平成27年度からの活用に向け、関係課と緊密に連携しながら、具体的な活用策や管理運営体制の検討などを進めます。	-	単年度目標設定なし	%	_				
	Check	⟨】評価(分	析)						
	【成果の状況】		1/17						
分析及び調	[活動の状況] を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点								
課題の整理	の								

	PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)									上下	水道局
			20 -	十次		1		担	当課	海外	事業課
	-	事業概要						課	長名	4	鳴
事									施	策番号	
業	海外水ビジネスの推進							τπ	- 2	_ (1)	- ①
名								νш		- (1)	- 🕕
	 海外水ビジネスは、2025年には、上下水道分野など合わ	サイ約07小田担営/	の士担	- ct E -	よてし目に まね でむし	l Ξ α	が共用態度		■ 直営		補助金
事	海外がピンイスは、2025年には、エトバ道が野など言れ においても、アジアを中心とした水インフラ分野の海外展							事	□ 全部氢	委託 ■	負担金
業概	進協議会」を軸に、官民がそれぞれ有する技術力やノウ						営までを含む	業		_	
要	海外の水ビジネス案件の受注を目指します。併せて、「ウ を進めます。	フォーーターフラザ北九	州」を「	P核施記	殳とした水ビジネスの	国際單	銭略拠点づくり	手	□ 一部刻	委託 🗌	指定管理
	と							法	□ その∱	也	
	事 26年度当初予算額 26年度執行額 (事業	(費備考)		人	目安の金額	調	₹長 1.40 人		()
ス	業 エ エ			件			長 2.20 人	(人件	-費備考)		
۲	費 96,094 円 円			費	60,600 千	円	战員 3.00 人				
		【Acti	on]ī	牧善							
	し、4.5.5.0 ビジネス対象国であるカンボジアやベトナム・	・ハイフナン市 イ	見								
課	H24年度のシバネシアで、案件形成活動を行い、着実に 評価結果		古	V + 4M =	「 海外水ビジネス推議	佐 ∤力 € 羊	ᇰᇰ	取索	一・古一佳!	安州亚	:ch:x##
題	大平はて さました。その結果、平成24年度はエト水道		ر ب	と目指し		生助我	云とより一層、	系省	- 運捞し	、余件形	·风 * 货 符
~	の課題 ネス案件を受注するなど、徐々に成果が現れる案件獲得に向け、積極的な活動が必要である。		内 容		.0.7						
	□ 大门及内(==)//(民国出)·6/日3// 2/文(6	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	T								
	(Plan) =	Limi				_ / r	Do】実施		TO h	eck]	= 37 / 3E
		· · ·		<u> </u>		, L	ルノチル		LCu	eck]	計加
	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような	状態にしたいか、どの	のような	成果を	実現したいか)	成	少事的大学用	1+6			
I⊟	カンボジア、ベトナム・ハイフォ					果	代表的な成果 標の実績など				
的	ン市、中国・大連市、インドネシ民間企業が有する高い					の状	参考に、成果				
	アを中心とする対象国 や信用力を結集し、海外	・の上下水道ビジネス	〈案件())受圧を	:凶ります。	· 1人 : 況	状況をチェック	ל			
						00	左曲中体			T ALLEY	_
	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を: (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の		25年度	度実績	26年度目標		年度実績 達成率)			その状況 価理由	
		カルガ/					庄州十/		81	ш-ти	
	上水道に関する水ビジネス案件の受注										
代		****			出左中口描記						
表	アジアを中心をした国や地域を対象に、上水道に関する 注します。	ヒン不人条件を党 			単年度目標設 定なし						
的	,2007				L.&C						
な成	(最終目標と目標年度)						%				
果											
指	下水道に関する水ビジネス案件の受注 										
標	 アジアを中心とした国や地域を対象に、国際戦略拠点を	チョンかん エー			単年度目標設						
	水道に関するビジネス案件を受注します。				定なし						
	(最終目標と目標年度)						%				
	1	1									
活						活					
動	どうやって 「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸 目的を達 築いているカンボジア、ベトナム、中国、イン					動の	活動指標の実				
計	日的を建一条いているカンボング、ハドノム、中国、イン 成するか す。	トイン/をヨ曲の刈り	然とし (.、水口:	ノイヘを展開しま	状	の状況をチェ				
画						況					
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を	文章で記載)	25年度	宇績	26年度目標		年度実績			の状況	₹
	(上段:指標名 下段:指標の説明)		20 1 13	27496	2012212	(達成率)		評	価理由	
	海外水ビジネスの推進										
	「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、技術・製	品の具体的な売り			単年度目標設						
活動	込みや各種展示会への出展、広報活動など、セールスプ				定なし						
指	を進めます。						%				
標	国際戦略拠点の効果的な活用に向けた活動										
					単年度目標設						
	平成27年度からの活用に向け、関係課と緊密に連携しな	がら、具体的な活			定なし						
	用策や管理運営体制の検討などを進めます。						%				
		Check	1 = ₩ Δ	亚 /八	Ler's						
		Check	76T1	四(万)	לומ						
分	【成果の状況】 【活動の状況】										
析	を踏まえた分析										
及び	※事業手法の有効性、 外部要因などの視点										
課	/ ログログに ジボボ										
題	- 										
の整	「効率性」(同コストで高成果を)										
理	の分析 ※民間活力導入の視点										
	ハンクリーバロ フューナンマン レレバ										